

【討議概要】

■テーマ1 「パンデミック時やその後における地域産業の振興」

1. メインセッションの概要

○ 講師：パジャジャラン大学 (Unpad) 副学長 ヤンヤン・モハマド・ヤニ 氏

○ 発表地方政府：

[中国] 河南省、江蘇省揚州市

[韓国] 忠清南道、京畿道

[アセアン] 西ジャワ州、フートー省

[日本] 静岡県、奈良県、奈良県広陵町

○ 事例発表等

・ 地方政府の事例発表では、「パンデミック後のフートー省の輸出成長」、「新型コロナウイルス感染症に対応する忠清南道の輸出支援」、「西ジャワ州の統合工業団地開発によるパンデミック後の産業回復策」、「パンデミック後の広陵町における地元産業の振興」等について発表があった。

・ 奈良県からは、荒井知事が「ベッドタウン型経済構造から自立的・内発的な経済構造への転換」と題し、県外就業率が高く、若者の人口流出が課題となっている本県は、若者の雇用創出が大きな目標であるとし、これまでの企業誘致や観光振興の取組や成果、本県が目指す社会の姿である「商ってよし、働いてよし、世間によし」の三方良しの社会の実現について、発表を行った。

・ 意見交換では、矢作恒雄氏より、「多くの地方政府がコロナの打撃から回復しつつあることが分かり、また、官民連携を実施されていると感じた。これからはナンバーワンを目指すのではなく、オンリーワンを目指すべきだ。荒井知事が言われた三方良しの社会は、負けをつくらずみんなに便益がある新しい社会だ。オンリーワンを維持するためのキーワードは、イノベーションだ。この会議で新しいアイデアを持ち寄り、地方政府のリーダーがイノベーターとなることが大切だ。」等のスピーチがあった。

2. サブセッションの概要

○ 講師：インドネシアコンピューター大学上級講師 アンドリアス・ダルマヤディ氏

○ 発表地方政府：

[中国] 陝西省

[アセアン] 西ジャワ州

[日本] 静岡県、奈良県

○ 事例発表等

・ 地方政府の事例発表では、「西ジャワ州の統合工業団地開発によるパンデミック後の

産業回復の加速」、「静岡県における地域経済の成長の取組」、「陝西省榆林市における化学工業新材料産業の発展促進の取組」等について、発表があった。

- ・奈良県からは、通山産業・観光・雇用振興部次長が、奈良県におけるパンデミックと戦うための中小企業支援の取組のほか、県外就業率や昼夜間人口の現状等を踏まえ、働く場を創出するための企業誘致などの取組について事例発表を行った。

- ・意見交換では、中西寛氏より、「高齢化が加速している日本は、中国やインドネシアなど伸びている社会と協力して解決しないといけない。現在産業が成長し、人口も安定している西ジャワ州と榆林市も、今後日本と同じ問題に直面する可能性がある。ローカルエコノミーにとって一番大切なのは、イノベーションや新しいアイデアだ。」等のスピーチがあり、各地方政府が、パンデミック時に取り組んだ施策等について発表した。